

(様式第1号)

# エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

## 1 事業者等の概要

氏名又は名称	丸紅株式会社			
代表者名	氏名	福田 知史	役職名	国内電力プロジェクト部長
主たる事務所の所在地	〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目4番2号			
事業者の区分	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する一般電気事業者		
	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する特定電気事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する特定規模電気事業者		
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者		
主たる事業の概要	<p>・PPS事業：電力自由化対象のうち、主に業務用需要家（オフィスビル等）への電力小売事業を実施しています。2008年4月より川崎市内において「川崎クリーンパワー発電所」、2014年1月より千葉県内において「中袖クリーンパワー発電所」を保有しており、当該発電所にて発電した電力と共に自家発電事業者より購入した電力を長野県内施設をはじめ、東京電力管内、中部電力管内、中国電力管内及び九州電力管内の需要家に対し電力供給を行っております。尚、長野県において水力発電所（100%出資子会社）を別途保有しております。</p> <p>・風力発電事業：風力発電事業会社を国内1箇所保有し、発電出力合計約20,000kWの風力発電所を運用しております。また現在、着床式並びに浮体式の洋上風力事業に参画しており、着床式は約250,000kWの風力発電所を建設予定、浮体式は経済産業省の実証実験事業のコンソーシアムリーダーとして事業を継続推進中であります。</p> <p>・太陽光発電事業：太陽光発電事業会社を国内に4社保有しており、その内2014年3月には「大分ソーラーパワー」が商業運転を開始しています。またその他にも全国各地にて太陽光発電所の建設を継続して予定しております。</p>			
電力供給量（総量）	1,594,914	千kWh	電力供給量（長野県）	36,119 千kWh

## 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	25	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

## 3 公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	社内の環境が整った段階で、HPに公表することを検討します。
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

##### ■発電事業等に係る取組方針

100%出資子会社である三峰川電力㈱により、長野県および山梨県にて小水力発電所を保有し、安定的に発電しております。

また、太陽光発電事業会社を国内に4社保有しており、その内2014年3月には「大分ソーラーパワー」が商業運転を開始しています。

##### ■その他の温暖化対策に係る取組方針

・本社・支社・事業会社含むグループ全体で下記環境関連ビジネスに取り組んでおります。

- 環境配慮製品・サービスの導入
- 新エネルギーの開発
- リサイクル関連事業への参入
- 温暖化対策事業への参入

#### 5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

##### ■発電事業等に係る推進体制

・長野県および山梨県に保有しております水力発電設備からの電力につき、小売事業の供給電力としての利用率を上げていきたいと考えております。また、自社保有水力発電設備の一部について現在リプレイス工事を実施しており、設備利用率を一層高め、再生可能エネルギーによる電源からの電力購入量を増加させていく予定です。

##### ■その他の温暖化対策に係る推進体制

・社内に「環境ビジネス推進委員会」および「CSR・地球環境委員会」を設置し、また2013年4月には「丸紅グループ環境方針」(1998年策定)を改訂致しております。

・丸紅グループとして、すべての社員が共有の認識を持ち環境対策を行う様、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを導入しています。

## 6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標

基準年度	実排出係数	0.389	t-CO <sub>2</sub> /kWh
平成25年度	調整後排出係数	0.418	t-CO <sub>2</sub> /kWh
目標年度	目標排出係数	平成25年度以下	t-CO <sub>2</sub> /kWh
平成26年度	目標削減率	-	%
目標設定に関する説明	<p>自社等発電所におけるCO<sub>2</sub>排出係数を改善すること、及び他社からCO<sub>2</sub>排出係数の低い電気の購入を図り、当年度も引き続きCO<sub>2</sub>排出係数の低減を目指します。</p>		
第一年度	実排出係数		t-CO <sub>2</sub> /kWh
	調整後排出係数		t-CO <sub>2</sub> /kWh
平成26年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO <sub>2</sub> 量		千t-CO <sub>2</sub>
排出係数等の増減理由			
第二年度	実排出係数		t-CO <sub>2</sub> /kWh
	調整後排出係数		t-CO <sub>2</sub> /kWh
平成27年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO <sub>2</sub> 量		千t-CO <sub>2</sub>
排出係数等の増減理由			
第三年度	実排出係数		t-CO <sub>2</sub> /kWh
	調整後排出係数		t-CO <sub>2</sub> /kWh
平成28年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO <sub>2</sub> 量		千t-CO <sub>2</sub>
排出係数等の増減理由			

7 上記6の目標を達成するための措置

前年度に卸電力取引所よりも排出係数の低い大規模火力発電所を買収したこと、さらに再生可能エネルギー電源を引き続き獲得したことにより、実二酸化炭素排出量を抑え、実排出係数の上昇を極力抑えることが出来ました。今年度においても、引き続き排出係数の低い発電源からの電力の調達を目指す予定でございます。

8 送配電時の電力損失低減に関する措置

9 需要家の省エネルギー対策の推進に関する措置

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	2008年度より保有・運転開始となった川崎クリーンパワー発電所においては、高効率ガスエンジンを導入することで、熱効率の高い発電を実施しております。また、中袖クリーンパワー発電所においては、コンバインドサイクル発電機を導入することで、従来のシンプルサイクルに比べ、熱効率の高い発電を実施しております。
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	○お客様の省エネ計画に役立てていただくよう、電気の使用状況をお知らせしております。 ○弊社のCO2排出係数をお知らせし、各々のお客様がご自身のCO2の排出量を把握できるようにしております。 ○お客様に対して、グリーン電力証書やRPS等の環境付加価値の提供のための提案を行っております。
その他	

(様式第1号)

10の1 自然エネルギーによる発電量に関する目標

区分	発電量		増減率		自然エネルギーの種類 (内訳)
基準年度	77,034	千kWh		%	水力発電
目標年度	66,313	千kWh	▲14	%	水力発電
第一年度		千kWh		%	
第二年度		千kWh		%	
第三年度		千kWh		%	

10の2 自然エネルギーにより発電された電気の調達量に関する目標

区分	調達量				自然エネルギーの種類 (内訳)
			県内分		
基準年度	134,859	千kWh		千kWh	太陽光・風力・バイオマス他
目標年度	211,263	千kWh	16,978	千kWh	太陽光・風力・バイオマス他
第一年度		千kWh		千kWh	
第二年度		千kWh		千kWh	
第三年度		千kWh		千kWh	

10の3 自然エネルギーの普及・供給拡大に関する措置

長野県内の当社100%子会社である三峰川電力(株)にて従来より運用している三峰川発電所、及び同社が新規開発・再生した小水力発電所(三峰川第三発電所260kW、第四発電所480kW、及び蓼科発電所260kW)を電力小売事業へ効率的に活用することにより、クリーンな電力の確保に努めました。また、複数の清掃工場において自然エネルギーにより発電された電気を積極的に導入することにより、バイオマス発電設備からの電力購入量を増加いたしました。引き続きより多くの自然エネルギーにより発電した電気の導入に努めます。

1 1 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究

--

1 2 の 1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	長野県内の当社100%子会社である三峰川電力(株)にて、地域との連携に関する取組として下記活動を致しました。 中尾歌舞伎の後援：地元中尾区に伝わる伝統芸能である中尾歌舞伎を支援、春秋の定期公演をはじめPR活動に協力しています。 環境ピクニック：「泳げる天竜川を取り戻そう」を目標に、地元企業が伊那市役所に集合してゴミ拾い、特定外来植物の根絶活動を実施します。 防犯灯の設置：毎年1箇所を目標に掲げ、伊那市内の小学校通学路の電柱に防犯灯を取付けています。 見学者の受け入れ：発電設備を一般に見学させる活動を行っており、小学生社会見学、中学生職場体験等も実施しています。
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・排出権取引事業： 専門チームを組織し、クリーン開発メカニズム（CDM）、共同実施（JI）の手法を取り入れた案件の開発推進、排出権にまつわる情報提供・コンサルティング業務等を行うと共に、国内外の排出権取引市場において積極的に取引に参加する等、CO2削減活動の推進に取り組んでおります。</li><li>・風力発電事業： 国内では1箇所（合計出力：約20,000kW）、海外では9箇所（合計出力：約908,000kW）を保有しており、また今後も風力発電事業を展開していく方針です。</li><li>・小水力開発事業： 当社100%出資の子会社である三峰川電力㈱において、小水力発電事業を推進しております。</li><li>・グリーンエネルギー認証センターにグリーン電力証書の申請事業者としての登録を行い、グリーン電力証書設備認定を取得しております。</li><li>・グリーン電力：英国にて、再生可能エネルギーの占める割合が高いグリーン電力の卸売・販売に力を入れています。</li></ul>
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 自由記載欄

--